

胆江地区衛生センターごみ焼却施設基幹的設備改良工事の進捗状況

No.13 令和元年11月～令和元年12月

胆江地区衛生センター

■ 基幹改良工事の住民見学会を開催しました

9月1日の2号炉及び発電設備完成引渡しにより、工事の工程に大きな区切りがついたことから、11月17日（日）に奥州市・金ヶ崎町の住民の方を対象とした工事見学会を開催しました。

当日は午前の部、午後の部あわせて50名の方に参加いただき、工事の進捗状況の説明を行った後、完成した余熱利用設備を実際にご覧いただきました。



高橋事務局長挨拶



工事の概要説明



現場見学-中央制御室



現場見学-灰クレーン操縦室



現場見学-タービン発電機



現場見学-蒸気復水器

■ 1号炉焼却設備の撤去が進められています

クレーンによる機器の撤去作業が本格化し、ごみホッパ（ごみの投入口）や給じん装置（ごみを燃やす場所へ運ぶ装置）といった機器やダクト類などの撤去が進められています。解体撤去作業は令和2年1月頃まで行う予定です。



クレーンを使って搬出したダクトや機器類（左写真）と、トラックへの積込みの様子（上写真）。搬出した設備のうち、鉄などの資源物は売却を行い、売却益は工事費に充てられます。

■ 建築工事では、基礎工事・補強壁工事を進めています

焼却設備機器の更新に伴い、基礎部分も更新を行います。12月より撤去した機器の基礎解体撤去を行い、新しい基礎の設置、アンカーボルト打設など機器設置に向けた作業を開始しています。

また、ボイラ等の新設機器により建屋へかかる荷重が増えるため、柱や壁、梁といった既設の建屋部分を補強する工事も行っております。



左写真：既存の柱の間に新設された補強壁 右写真：新設されたコンクリート柱
その他、必要箇所特殊な鋼板を巻く補強やコンクリート壁の増設などを行っています。